



☆ 酪農家紹介（埼玉県 K 牧場さん）

“牛を長く活かす！”

このポリシーを胸に、産次数の高い牛群を率いて近代酪農へと立ち向かう！

1. 作業人数：4人
2. 頭数：70頭（搾乳頭数：65頭、乾乳頭数：5頭）、
3. 乳量：約28kg/日/頭
4. 乳肝の使用期間：平成17年6月～現在に至る：継続中
5. 乳肝の使用ステージ：全頭給与
6. 乳肝の給与量：①乾乳期：100g（約2ヶ月間）
②分娩後～乾乳期：約50g
7. 給与方法：トップドレス（軽く配合と混ぜる）

ー 「バイパスサプリ乳肝」 を使ってみてー

1. 夏場の食い止まりの防止。
2. エサ食いが良くなり、飼料効率も改善された。
3. ケトージス、乳房炎（免疫力低下から発生するもの）、4変など、事故率の大幅な減少。
4. 治療費の大幅な減少。
5. 乳量が安定。泌乳ピークまで順調にもっていける。

「乳肝」の効果を実感！

乳肝を使用するきっかけは、営業マンの強い勧めです。正直、だまされたつもりで使用を開始しました。今まで様々な添加剤を試してきましたが、実際に効果を感じたものは無く、今回もあまり期待せずに使用を始めました。それから約3ヶ月間使用し、乳肝の効果について改めて考えてみると、3ヶ月前よりも牛の状態がだいぶ良くなってきていると実感しました。

特に使用時期が6月からということもあり、夏場の食い止まりが改善され、夏バテ防止に効果的でした。また、ケトージスなどの代謝病が減り、担当の獣医師さんにも驚かれるようなこともあり、今まであまり気にしたことがなかった肝臓という臓器が、どれほど重要な役割を果たしていたのかを実感しました。肝臓を健康に保つことが、安定した酪農経営につながると思うようになりました。

— これからの目標 —

“疾病を予防し、安定した酪農経営を目指す！”

今後の目標は、“周産期の疾病を予防し、安定した経営をしていくこと”です。以前に比べると周産期病の発生率が減り、今まで悩まされていた疾病が改善されたことで、だいぶ精神的に楽になりました。特に、周産期病などの疾病は様々な要因が絡み合って起こる問題なので、1つ1つ原因を考え、改善していかなければなりません。今回はその原因の1つに肝臓からくる場合もあることが分かりました。今までなかなか考えなかったが、気づかないうちに肝臓のような臓器は痛んできているようだし、見えないところにも気を配りつつ、疾病を予防し、安定した酪農経営を実現していきたいと思います。

～ 1歩先行く酪農経営に向けて！！ ～

「バイパスサプリ」シリーズ

- バイパスサプリ乳肝
- バイパスサプリ乳肝プラスリジン ※特許取得（特許番号：第3728738号）

‘牛の健康を保つこと’は安定した酪農経営へとつながります。そこで、牛の健康維持のためにサプリメントの補給は重要な役割を担っています。しかしながら、牛にはルーメン（第1胃）が存在するため栄養補給が難しく、牛の健康管理の妨げとなる要因の1つであることは確かです。

そこで、バイオ科学は、独自のバイパス技術により、牛の健康に必要な栄養素を確実に牛体内に取り込ませることのできるバイパス製剤を開発しました。特に分娩前後や高泌乳牛に不足がちな栄養素をバランス良く配合しており、肝臓の健康維持とともに乳量・乳質の改善が期待できます。

肝臓の主な役割

- ① 栄養素(糖質、脂質、タンパク質)の代謝
- ② 解毒作用(アンモニア、薬の無毒化など)

肝機能の低下により

- ① エサの食いが落ち、乳量が伸びない。
- ② 飼料効率が悪くなり、乳量が安定しない。
- ③ 脂肪肝など周産期病の発症率が高くなる。

⇒ 経済的にダメージ



 バイオ科学株式会社

ホームページアドレス

<http://www.bioscience.co.jp/>

本社・工場	徳島県那賀郡那賀川町工地246-1	TEL:0884-42-3090
札幌営業所	北海道札幌市東区北31条東16-2-2	TEL:011-786-8399
帯広営業所	北海道帯広市西17条北1丁目37-17	TEL:0155-36-0577
福島営業所	福島県伊達市字館ノ内38-44	TEL:024-584-2808
関東営業所	栃木県宇都宮市御幸町44-1	TEL:028-663-1129
阿北営業所	徳島県板野郡上板町七条字古町54-1	TEL:088-694-6282